

平成28年度 定時社員総会 議事報告書

1. 日 時 平成28年6月28日（火） 午後1時～午後3時

2. 場 所 岸記念体育会館 5階 504・505号会議室

3. 出席者 正会員31名、委任11名、代理出席5名

4. 陪 席 渡辺幹也（副会長）、及川悦郎（専務理事）、
三原孝明（常務理事）、野口省吾（理事）、
大江直之（事務局長）

5. 会長挨拶 （高橋会長）

本総会で役員改選が行われ、総会終了後の理事会にて役職の選任が行われる予定であるため、円滑な議事進行にご協力願いたい。

本総会による役員改選にあたり、理事会において競技・国体委員会を個々の委員会に独立させる旨の定款の施行についての細則の一部改正が行われたことにより、定款との齟齬が生じないように第28条第4項を一部改正する必要がある旨報告説明し、本総会の議題として取り上げる旨が承認された。

6. 議事録署名人

議事録署名人として、相馬正（青森）、増田正起（静岡）の2名が選任された。

7. 報告事項

（1）正会員の変更について

「正会員の選出に関する規則」の変更に伴い、各都道府県協会より年齢制限に抵触しない正会員が選出されたことが報告され、各都道府県の正会員一覧表が資料として配布された。

(2) 平成28年度事業計画・収支予算について

去る平成28年3月31日開催の平成27年度第7回理事会において承認された標記案件について、定款第52条に基づき本総会にて報告された。

平成28年度はリオ五輪大会開催年にあたり、2名の参加選手と強化スタッフが一丸となりメダル獲得を目標に傾注、本部公式をはじめ全日本選手権・国体など主要大会の充実を図る、鉄砲スポーツ業界の活性化を目的とする協議会を立上げ関係省庁に法改正を要望、3R宣言を経てガバナンスの強化・整備を目指し、協会全体が一体となって「クレ射撃の普及・振興」を中心とした協会運営を目指す旨の事業方針に加え、収支予算は1千万円の予備費計上を含み収支均等で構成されていることが説明された。

(3) 日本体育協会による国体第3期実施競技選定について

新しい実施競技選定は、当協会に有利に働いていた必須要件が削減され、代わりに女子スポーツの充実や競技団体ガバナンスに関する項目・加点が追加された。

第3期実施競技選定では、クレ射撃競技を是非とも隔年開催から毎年開催に復活させるため、女子選手の会員増強や3R宣言書に基づくガバナンスの強化・整備についてご理解・ご協力を願いたい旨が報告された。

(4) 国体予選について

日本体育協会は、平成15年度に「国体改革2003」を制定し、国体の活性化のため順次改正・改訂を進め、外国人選手の参加可、中学生選手の参加可、夏季・秋季一本化、ふるさと制度導入などを行ってきた。その根本目的は「国民であれば誰でも参加できる国体」を目指すものであり、当協会も門戸が開かれた実施要項に修正されるよう指導されてきた経緯がある。

各地方協会における国体選手の選考方法は、その多くが地方公式大会を兼ねて実施されている状況であり、地方公式大会は競技規定に抵触するため、非会員である一般銃砲所持者はこれに参加することができ

ない。

従って、選考会を企画する際に、一般銃砲所持者が参加できる競技会を別途設ける形式で、国体選手選考を行っていただきたい。

(例) 会員のみ参加 地方公認公式 3回

非会員も参加可 予選会 3回

* 前述計6回の競技会の内3回の良スコアを集計し、
上位3名を選出

但し、県予選を経てブロック予選（ミニ国体）へ参加する場合は、ミニ国体がどのブロックも地方公式大会に充てているため、ミニ国体へ参加申込みをする時点で当協会への会員登録手続きを行なう必要がある。

また、各都道府県協会においては、非会員も国体県予選に参加できる選考方法を採用いただき、他競技団体との交流、新入会員の獲得などに注力をお願いしたい。

なお、本年度の岩手国体は既に県予選が実施されているため、この基準は適用しないが、次年度の愛媛国体よりこの基準を設ける予定。

(5) 平成28年度全日本選手権大会の出場枠（QP）について

昨年度の出場枠は、最大で89名に出場枠（QP）が付与されるため、現行のトラップ2面・スキート2面では2日間で競技が消化できないことや、既にQP獲得者が上位入賞した場合QPの権利が下位に繰下る方式の採用により、かなり下位まで権利が繰下がる実態があることから、平成28年度よりこれを是正するため、次の通り改訂された。

《平成28年度全日本選手権大会：トラップ・スキート各種目出場枠》

- 1 平成27年度全日本選手権大会 上位1～6位 6名
- 2 平成27年度第70回和歌山国体 上位1～8位 8名
- 3 平成28年度春季本部公式大会（A・B）上位1～6位 12名
- 4 平成28年度夏季本部公式大会①（A・B）上位1～6位 12名
- 5 平成28年度夏季本部公式大会②（A・B）上位1～6位 12名

- 6 平成28年度秋季本部公式大会（A・B）上位1～6位 12名
- 7 平成28年度各ブロック選手権大会 上位1～3位 *廃止

1～7合計 62名（*繰下がり無し）

8. 審議事項

（1）平成27年度事業報告（案）について

（※公益目的支出計画実施報告書含む）

総会招集通知へ原案を同封発送してあるため、配布資料に添って骨子説明が行われ、投票形式による採決の結果、理事会による上程案が承認された。

（投票結果：賛成46 反対1）

（2）平成27年度収支決算書（案）について

事業報告と同様に、総会招集通知へ原案を同封発送してあるため、配布資料に添って骨子説明。

財務体質は改善されており、特に当年度は裁判和解金、受取寄付金、JOC交付金による見込み以上の収入増が発生した。

公益目的支出事業（レーザークレー・国体選手強化交付金）の執行を含み、平成28年年3月末日の正味財産は42,858,239円となった。投票形式による採決の結果、理事会による上程案が承認された。

（投票結果：賛成47 反対0）

（3）役員改選について

各ブロックより選出されたブロック理事候補者11名、役員選考委員会により選出された学識経験者理事候補者8名並びに監事候補者3名について報告され、投票形式による採決の結果、全ての候補者の理事就任・監事就任が承認された。

（投票結果：賛成47 反対0）*全候補者

（4）定款の一部改正について

総会冒頭に説明した通り、競技・国体委員会をそれぞれ独立分離し

たため、定款第28条第4項記載の常務理事定数を9名以内に変更する旨説明があり、投票形式による採決の結果、定款の一部改正が承認された。

(投票結果：賛成47 反対0)

(5) 3R(スリー・アール)宣言書について

当協会におけるこれまでの混乱や諸問題の再発防止、ガバナンスの強化・整備等々の為、理事会で「3R宣言書」を作成。総会承認を経て、協会内外へ同宣言書を広く公表し、誓約事項の遵守にあたりたい。配布資料にそって誓約事項の説明があり、投票形式による採決の結果、3R(スリー・アール)宣言書が承認された。

(投票結果：賛成47 反対0)

以 上